

番号	7 - 5	申請者	6階病棟 看護師 仁 美寿々
<p>【審査申請課題】 筋萎縮性側索硬化症患者の看護介入やケアの向上にむけての取り組み ～ALS緩和ケアスケール導入による意思決定支援の時期やケア導入時期の事例を通しての 検討、考察～</p>			
<p>【審査課題の概要】 A病棟においては、ALS患者の苦痛を的確に判断できていない現状がある。検査結果が悪くない場合でもALS患者は「苦痛」を感じており、言語的なコミュニケーションが困難になることも含め、医療従事者へ自分の苦痛をはっきりと伝えられず、看護師も患者の苦痛をくみ取れない場面があった。 今回、ALSガイドライン2023年版より「終末期に生じる症状（ALS緩和ケアスケール）」（以下、ALS緩和ケアスケール）が明示された。そこで、A病棟のALS患者へALS緩和ケアスケールを導入し、患者の症状を可視化することで、個別性を考えた意思決定支援の時期の検討や早期の苦痛緩和につながると思う。</p>			
審査結果	承認 （ 令和7年4月24日 ）		